



東海大学 農学部 農学教育実習センター

農学教育実習センター 農場部門

農場部門では、人と自然の共生を考慮しながら人間の生活に欠かせない安定した食糧生産の確立に貢献する即戦力の人材育成を目指しています。阿蘇くまもと臨空キャンパスおよび阿蘇フィールドの圃場は農学科の農学実習や卒業研究で活用されており、露地野菜・作物・施設園芸・果樹・林業など植物全般の栽培・管理作業について学びます。農学部の教育方針である実学尊重を母体とした実習のカリキュラムとなっています。



阿蘇実習フィールド(旧阿蘇キャンパス)の学内水田は学生一人ひとりの手で20年以上前から無農薬、無化学肥料で栽培を続けている特別な水田です。本水田では阿蘇の恵まれた大地と湧水を背景に、自然環境、生態系、固有種の保全と循環を念頭に持続可能な水稻栽培により、学生が自ら水田を作ることができる知識の習得、日本古来より伝わる農耕文化の継承をコンセプトとして栽培しています。農学科2年次の農学実習では、手作業による田植えと稲刈りを実施し、また実験で行う生育調査や収穫調査、収量構成要素調査などとリンクして進めています。そして収穫した新米は、毎年、栽培した学生の保護者の方へお送りすることが恒例となっています。

2022年度からはこのお米に本学農学部産のブランド米として、「阿蘇乃舞」を命名しました。

〒861-2205

熊本県上益城郡益城町杉堂871-12

TEL: 096-234-6513 FAX: 096-286-3025

